

△市内米軍施設の現況等について

◆（加納副委員長） きょうは初委員会ですから細かいことは別にして、私も行政がいろいろな形で要請することについては理解をします。問題はウィークデーに突如、騒音、爆音、今非常に社会が自然災害を含めてさまざまな形で不安を感じているときに、突然こういうことが起きて、先ほどのような苦情件数が入っている。国との絡みでいろいろな問題があることはよくわかっていますけれども、横浜市に情報が入ってくるのがまず遅いと思うのです。だからもうちょっと早くしてもらえないかということについては、皆さん方が前から要請していると思います。次に、連絡が入ったときに、住民、市民にどう周知していくか。驚かせている、不安がらせている、瀬谷区でも非常に不安で驚いているし、何が起きたのか事情もわからないということがあるのですが、本市としてこういった訓練が行われる場合の市民に対する周知はどうしているのか。それから今後、市民の不安や驚きについて、もう一步工夫すべき課題かと思うのですが、どうでしょうか。

◎（小林政策局長） これまでも当日連絡が来るとか遅いことについては、先方とも絡みますが、私どものさまざまな状況についてよく説明して、とにかく早くと申し入れることをまずやっていきたい。

2つ目のどのように市民の皆様到的確に情報を伝えるかについては、内容、方法は考えていきたいと思います。今はいろいろな仕組みもございますし、関係機関もございますが、できるかどうかわかりませんが、あるいは私どもがやるということは周辺市の方も関係することですから十分協議した上で、例えばメールの配信ができるかどうか、あるいは区役所から何らかの形で伝わるような基礎的な広報手段もございますので、改めて考えて、加納委員がおっしゃったことにできるだけ近づけるように、研究していきたいと思います。

◆（加納副委員長） 手法についても、どこまでどう周知するかについて、非常に難しい問題だと思いますが、区役所がどうかかわるかとか、厚木基地を中心に騒音が聞こえる地域も限られると思うのです。今回の百数十件の苦情についても幾つかの区にまたがっていますけれども、その区役所ともどう周知していくか、保育園や幼稚園、お子さんを持っている人からすると、何があったのかと何しろみんな驚いています。それから大和市で部品が落ちたことも新聞で見たりしているから、何か落ちたのかとかいろいろ不安と不信があるから、やはり連絡が入ってきたときに、要請はするけれども、もう一方、市民の側に対してどう周知するかということも検討していただきたいと要望します。

もう1点、横浜市と米軍と個別に結ばれている協定とか何かありますか。

◎（三好基地担当理事） 本市と米軍との協定と申しますか覚書は、防災に関するものがございまして、災害時における情報交換等を行うために、海軍の横須賀基地と厚木基地とは防災の協定を結んでおります。